

## 別表7 短時間救命講習

### 1 対象

小学校4年生以上の者（応急手当普及員が指導者として開催する場合は、当該応急手当普及員が所属する事業所の従業員又は自治会、防災組織等の構成員に限る。）

### 2 到達目標

- 1 胸骨圧迫を救急車が現場到着するのに要する時間程度できる。
- 2 自動体外式除細動器（AED）を正しく使用できる。

### 3 標準的な実施要領

- 1 講習は、実習を主体とする。
- 2 資器材1式に対し、受講者を3人以内とする。
- 3 指導者1人に対し、受講者を20人以内とする。

### 4 内容

項 目		細 目	時間 (分)
応急手当の重要性		応急手当の目的、必要性（心停止の予防等を含む。）等	10
救命に必要な 応急手当（主 に成人に対す る方法）	心肺蘇 生法	基本的な心肺蘇 生法	80
		AEDの使用 法	
	止血法	直接圧迫止血法	
合計時間			90

### 5 備考

次回は、普通救命講習を受講するよう勧めること。